

北海道医療新聞

10月24日
2008年・1751号
毎週金曜日発行
年間購読料19,000円
(前納/税・送料込)
発行所

北海道医療新聞社
〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目
(北海道医師会館)
TEL 011(221)7777
www.medim.co.jp

分類テーマに講演

学会昇格後初の勉強会

ヘルニア
学会道支部

日本ヘルニア学会道支部(通称・ヘルニアを学ぶ会)は、学会昇格後、初となる総会と勉強会を札幌市で開き、鼠径部の臨床解剖と同学会鼠径部ヘルニア分類をテーマに基調講演二題を行った。同支部代表世話人の宮崎恭介みやざき外科・ヘルニアクリニク理事長は、鼠径管を開放する前方アプローチ術を解説した。初回手術で筋恥骨孔を

すべて閉鎖するため、ポイントとなる臨床局所解剖を「皮膚から外膜斜筋腱膜」「鼠径管内の構造物」「腹膜外腔」に分類。外鼠径、内鼠径、大腿の各ヘルニアがないか、術中チェックすることが重要と強調した。

西山徹名寄市立総合病院診療部長は、腹腔内アプローチ術で、ヘルニア門の計測を、腹膜剥離終了後に腹横筋膜レベルの上下径とすべきと指摘



前方、腹腔内各アプローチ術のポイントが紹介された